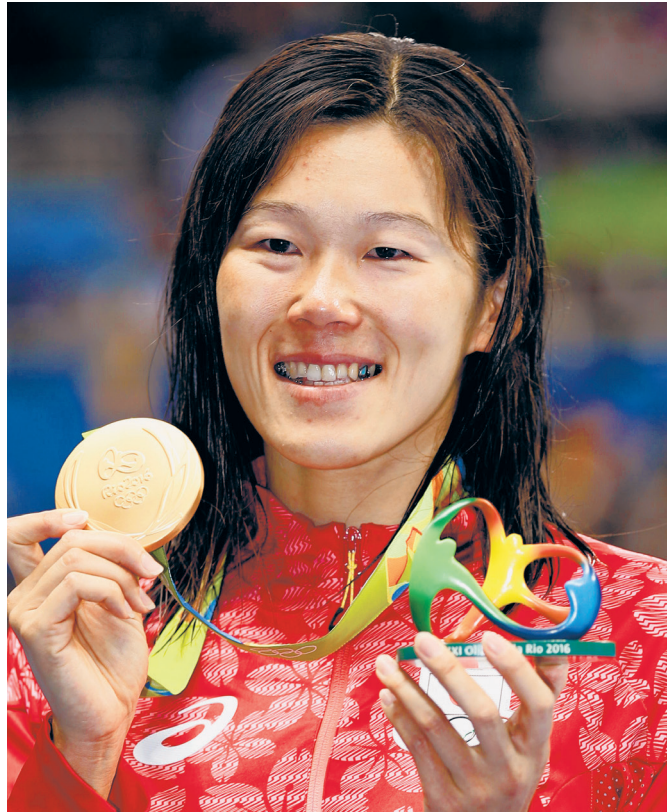


金藤 V

競泳女子200平泳ぎ



女子200平泳ぎで獲得した金メダルを手にする金藤理絵 ーリオデジャネイロ(共同)

【リオデジャネイロ共同】リオデジャネイロ五輪第7日の11日、競泳は女子200平泳ぎの金藤理絵(27)が2分20秒30で優勝し、この種目では1936年ベルリン五輪の前畑秀子、92年バルセロナ五輪

の岩崎恭子以来3人目の金メダルに輝いた。男子200平泳ぎはメドレーの萩野公介(21)が1分56秒61の銀で、400平泳ぎは個人メドレーの800平泳ぎと合わせ今大会3個目のメダルを手にした。

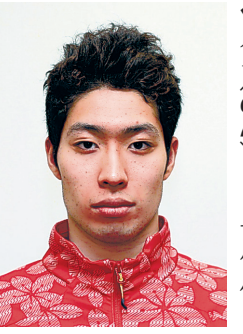
卓球は男子シングルの水谷隼(27)がビーコン・ラボが3位となり、日本男子で史上初のメダルに輝いた。個人種目では男女を通じて初めて。柔道は羽賀龍之介(25)が旭化成



羽賀龍之介



水谷隼



萩野公介

卓球水谷、柔道羽賀は「銅」

男子200個メ 萩野「銀」

が男子1000キロ級の日本勢では2000年シドニー五輪金メダルの井上康生以来、16年ぶりのメダルとなる銅を獲得した。日本のメダルは金7個となり、前回の12年ロンドン五輪に早くも並んだ。銀2、銅13で合計は22個となった。テニスの男子シングルスは錦織圭(26)が2大会連続でベスト8入りした。初実施のラグビー7人制男子の日本は4位。体操は寺本明日香(20)がリジャックスポーツが女子個人総合で日本選手52年ぶりに8位入賞した。